

平成30年度 第2回 野田市自転車等駐車対策協議会 次第

日 時 平成30年 9月25日

午前10時00分から

場 所 野田市役所8階大会議室

1 開 会

2 議 題

・梅郷駅西口における駐輪場整備候補地について

3 報告事項

4 閉 会

梅郷駅西口における駐輪場整備候補地について

1 第一候補地（旧県道側）の確保

（1）土地借地交渉結果

平成30年度第一回野田市自転車等駐車対策協議会「以下、（協議会）」において、梅郷駅西口駐輪場整備の第一候補地となった旧県道側は、現在、市が設置している暫定無料駐輪場地（979㎡）で土地所有者が三人、隣地（803㎡）は、土地所有者が一人となっている。（資料1）

今回、梅郷駅西口の有料駐輪場整備に伴い、前回の協議会において、整備候補地の確保方法の中でご承認いただいた、「市が土地を借地し民間業者による長期的な整備管理方式で進める」となったことから、土地借地期間は20年で交渉を行った。

その結果、土地所有者4人（暫定無料駐輪場地：3人、隣地1人）中、2人（暫定無料駐輪場地1人、隣地1人）の方からは大筋了承をいただくことができた。しかし、現在市が暫定無料駐輪場として借地している土地所有者1人（資料2：A）からは、「長期的に土地をお貸しすることはできない」、また、もう1人（資料2：B）の方からは、「10年間の借地期間なら承諾はできる。20年は難しい。」との回答を受けた。

（2）第一候補地（旧県道側）の方向性

第一候補地において、土地借地交渉を行った結果、土地所有者4人中、1人の土地所有者から「長期的に土地をお貸しすることができない」と回答を受けたことに伴い、この土地（資料2：A）を除いて、前回の協議会で示した参考試算台数を確保できるか検証を行った。

その結果、第一候補地の当初有料駐輪場整備規模としては、約1,300台程度を確保できる予定となっていたが、借地交渉後、「10年間の借地期間なら承諾はできる。」土地（資料2：B）を含めて（資料2：茶色部分）、再度シミュレーションをしたところ1,165台の確保ができた。このことから、梅郷駅西口参考試算台数平成32年度1,155台中、市整備分の91

3台は確保できると確認ができたため、整備する有料駐輪場の形状が変わってしまうことになるが、当初予定していた第一候補地のまま、進めていきたいと考えている。

については、民間事業者による長期的な整備・管理方式で進めていく際、事業期間を二期に分け、一期の事業期間を10年間とし、有料駐輪場整備・運営事業者を公募していきたいと考えており、第一期の事業期間では、「10年間の借地期間なら承諾はできる。」土地(資料2:B)を含めて有料駐輪場を整備することになるが、第二期の事業期間にあっては、その時点で当該土地(資料2:B)を借地更新できなかった場合、当該土地(資料2:B)を除いて有料駐輪場整備を行うこととなる。

なお、当該土地(資料2:B)にかかる面積は103㎡であり、この土地に係る影響台数としては110台程度であったため、仮に、当該土地(資料2:B)を除いたとしても、駐車整備台数1,055台は確保できることとなり、平成32年度参考試算台数の市整備分の913台は確保できる。

よって、現段階でのシミュレーションとなるが、自転車利用の導線や位置関係を比較するため、第一候補地旧県道側で土地借地交渉の結果、形状が変わった場合の有料駐輪場整備図(資料3)と、第二候補地線路側の有料駐輪場整備図(資料4)を作成した。

さらに、西口における自転車利用の参考試算台数については、西口に有料駐輪場を整備後、自転車利用が安定した段階で、市が確保する台数については検証し見直していきたいと考えている。

2 整備方法

整備主体としては、民間活力を有効活用した、公募型プロポーザル方式により有料駐輪場整備事業者を募集し、事業期間については、市が土地を20年間で借地(一部10年間)し、事業募集期間を、1期10年とし2期制としたい。

また、整備水準については、平面アスファルト敷、屋根なし、無人による提案型の有料駐輪場を整備することしたい。

なお、公募型プロポーザル募集要綱及び有料駐輪場整備・運営事業仕様書

については、今後、市が事業者選定委員会を設置し、協議会から示された意見を基に、具体的な内容を審議、決定していただきたいと考えている。

3 梅郷駅における無料駐輪場の考え方

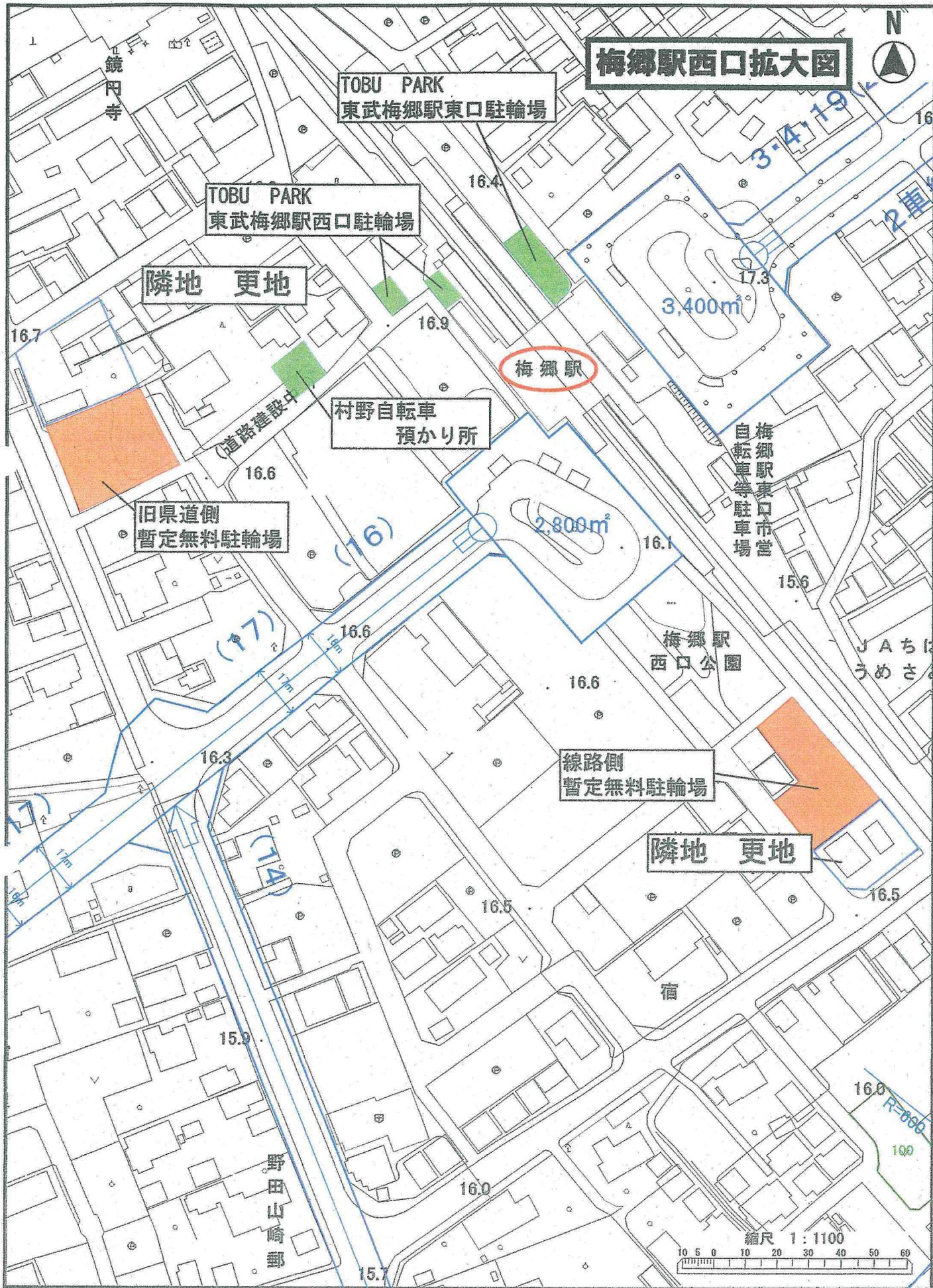
平成29年3月に開催した協議会で、今後は有料化により受益者負担と示されたことから、梅郷駅においては、駅自転車利用の需要台数を確保できること、有料駐輪場整備時の一時的退避場所を確保せずに有料駐輪場整備ができることから、無料駐輪場は設けないこととしたい。

4 梅郷駅西口有料駐輪場整備後の検証

本事業完了後に下記の検証を実施することとする。

- 1 梅郷駅西口における駐輪場施設の利用台数の把握
- 2 梅郷駅東口における駐輪場施設の利用台数の把握
- 3 梅郷駅周辺の自転車等放置禁止区域内の放置自転車等台数の把握

梅郷駅西口拡大図



TOBU PARK
東武梅郷駅東口駐輪場

TOBU PARK
東武梅郷駅西口駐輪場

隣地 更地

梅郷駅

村野自転車
預かり所

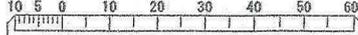
旧県道側
暫定無料駐輪場

梅郷駅東口市営
自転車等駐輪場

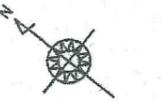
線路側
暫定無料駐輪場

隣地 更地

縮尺 1:1100



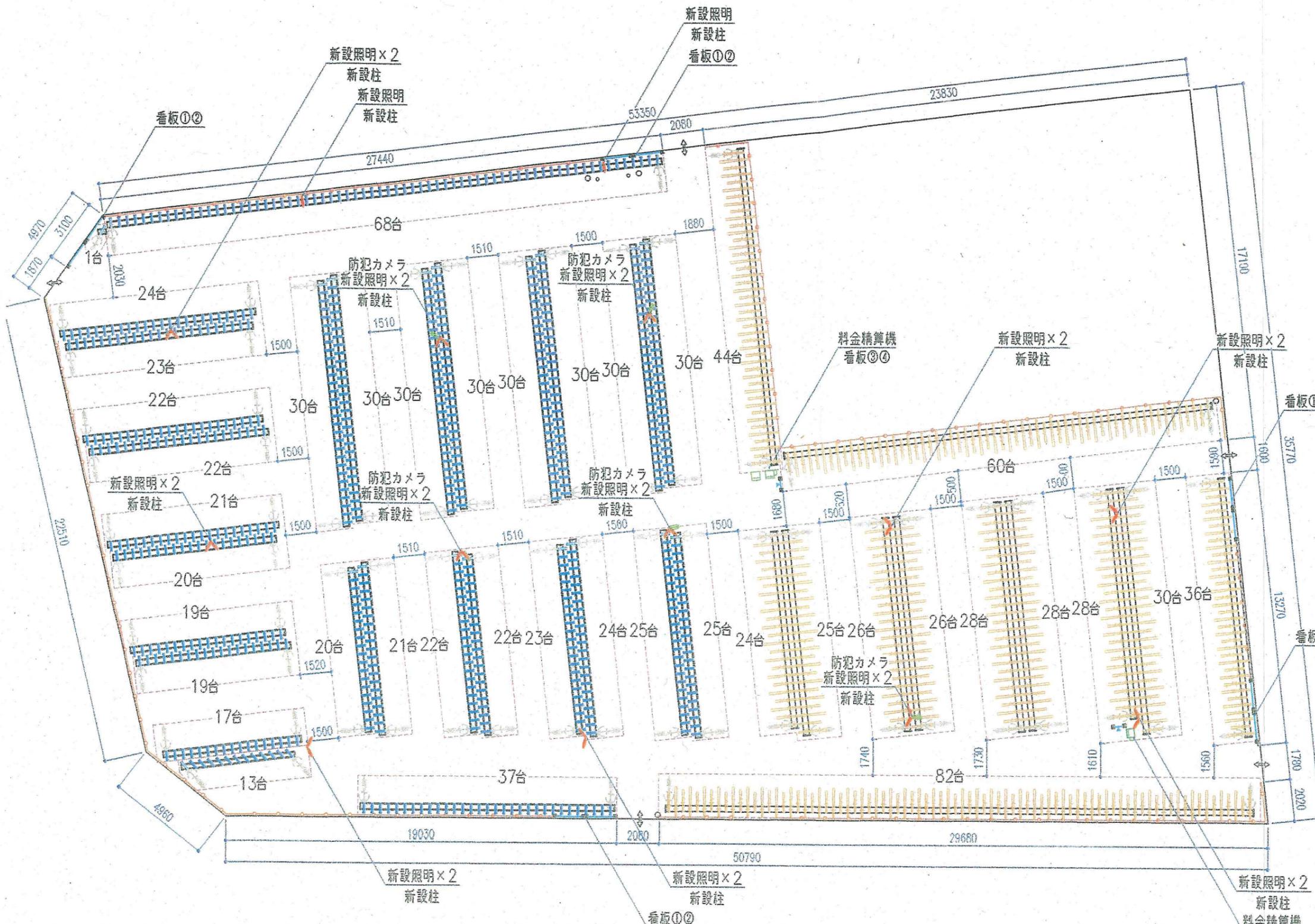
野田都市計画事業梅郷駅西土地区画整理事業 仮換地明細図



S=1 : 1,000



- 凡例
- 第1候補地 (借地交渉後)
 - 第1候補地 (長期借地できない土地)
 - 第2候補地



事業地面積：1459.05㎡

新設柱及び新設照明	NNY20465×26新設柱×14
新設防犯カメラ	5台

収容台数		
種別	台数	備考
一時自転車	437台	
定期自転車	728台	
合計	1165台	

凡例 *特記なきものは下記の通りとする。

記号		名称	
[Symbol]		ブロック(自転車用)	
設置間隔	角度	台数	備考
350mm	90°	222台	
400mm	90°	215台	
合計		437台	

記号		名称	
[Symbol]		籠車ラック(自転車用)	
設置間隔	角度	台数	備考
350mm	55°	13台	
400mm	90°	715台	
合計		728台	

記号		名称			
[Symbol]		規約/案内看板			
No.	サイズ	種別	片/両	差数	備考
①	本体：W1300×H2200 柱面：W1200×H1200	自転車	両面	5差	横型/自立 埋め込み式
②	本体：W1300×H2200 柱面：W1200×H1200	自転車	両面	5差	横型/自立 埋め込み式
③	柱面：W400×H270	自転車	片面	2差	精算機上 1型看板
④	本体：W600×H1600 柱面：W500×H1300	約定	片面	2差	横型/自立 埋め込み式

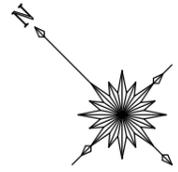
記号		名称	
[Symbol]		ES500Rα(料金精算機)	
仕様	備考		
差数	2差	端子	
遠隔操作装置(有線)	0差		
遠隔操作装置(無線)	1差		
ICカード対応	有		
IC通信装置(有線)	0差		
IC通信装置(無線)	2差		
磁気カード対応	無		
デジタルサイネージ対応	無		
テント	無		
MKY-HUE差数	無		
バンクプロテクター	無		

記号		名称	
[Symbol]		EPL500R(定期認証登録機)	
仕様	備考		
差数	1差	子機	
遠隔操作装置(有線)	0差		
遠隔操作装置(無線)	0差		

収容台数

種別	台数	備考
当日自転車	92台	
定期自転車	960台	
合計	1052台	

事業地面積：1378.79㎡



凡例 ※特記なきものは下記の通りとする。

記号	名称		
	Bロック (当日・自転車用)		
設置間隔	角度	台数	備考
400mm	90°	92台	
合計		92台	

記号	名称		
	Bロック (自転車用)		
設置間隔	角度	台数	備考
350mm	45°	22台	
400mm	90°	938台	
合計		960台	

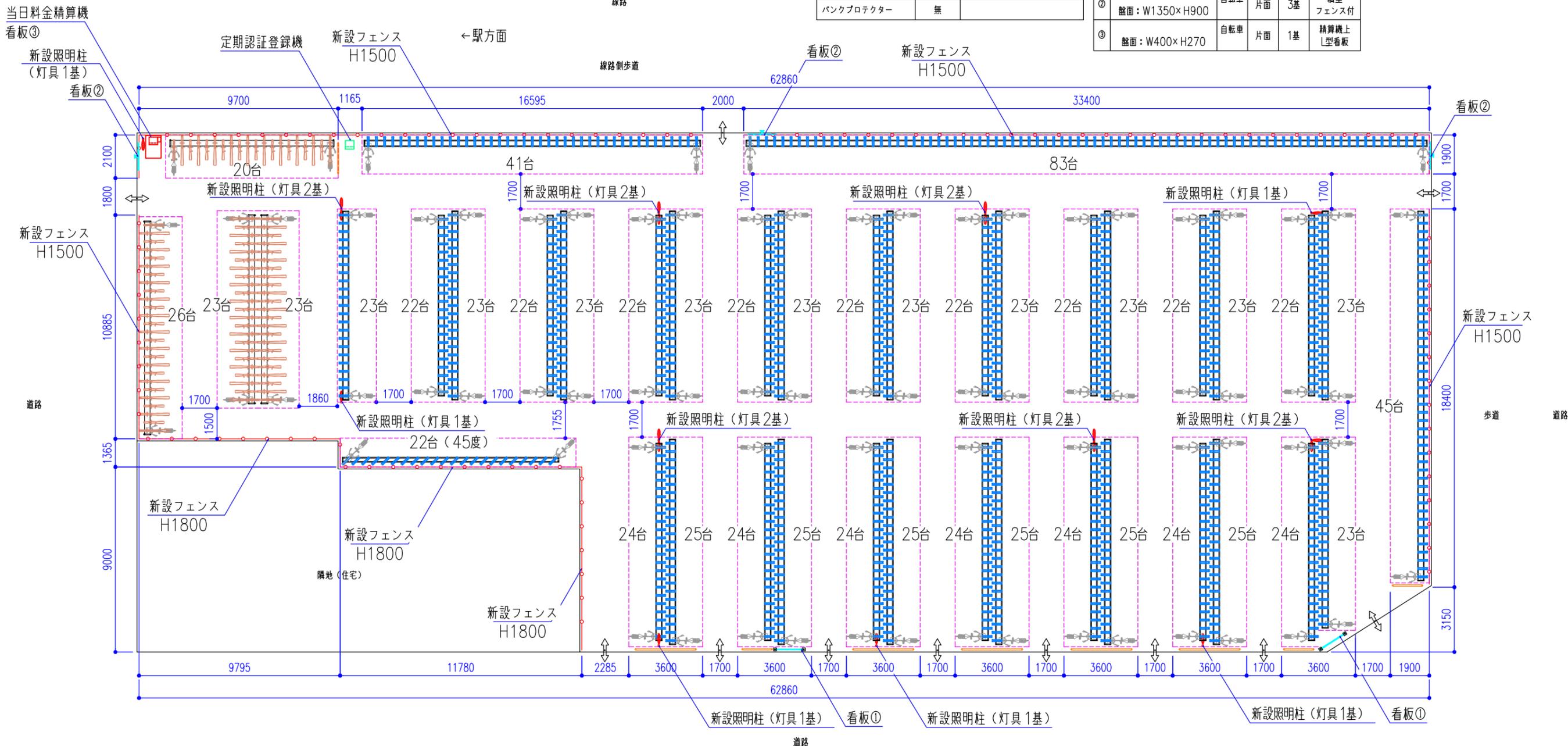
記号	名称
	EPL500R (定期認証登録機)
仕様	備考
基数	1基 親機とする
遠隔操作装置 (有線)	0基
遠隔操作装置 (無線)	1基

記号	名称
	ES500PaT (当日料金精算機)
仕様	備考
基数	1基 子機とする
遠隔操作装置 (有線)	0基
遠隔操作装置 (無線)	0基
ICカード対応	有 PASMO
IC通信装置 (有線)	0基
IC通信装置 (無線)	1基 FOMA
磁気カード対応	無
デジタルサイネージ対応	無
テント	有 精算機付
MKY-HUB基板	無
バンクプロテクター	無

記号	名称	
	ガードパイプ	
サイズ	本数	備考
W1500	4本	埋め込み式
W3000	5本	埋め込み式

記号	名称	
	出入口	
	新設柱及び新設照明	12柱・NNY20465 (18基)
	新設フェンス	H1500 (道路)・H1800 (隣地)

記号	名称				
	規約/案内看板				
No.	サイズ	種別	片/両	基数	備考
①	本体：W1450×H2000 盤面：W1350×H900	自転車	両面	2基	横型/自立埋込み式
②	盤面：W1350×H900	自転車	片面	3基	横型フェンス付
③	盤面：W400×H270	自転車	片面	1基	精算機上L型看板



特記事項	*電源は敷地外電柱より引込み予定 (いずれかの照明柱へ引込)	修正事項		営業	設計	工事名	図番	170625CU-2	
	*台数およびレイアウトは測量後の確定とさせていただきます。							作成日	2017.08.07
	*看板取付位置・方法・内容については協議にて。							縮尺	1/200

報告事項

清水公園駅東口駐輪場について

1 清水公園駅東口駐輪場整備後の定期利用料金について（東武不動産株）

場所	利用形態	車種	収容台数	利用料金	
西口	一時利用 TOBU PARK	自転車	62台	100円/12時間	
		原付	5台	150円/24時間	
	定期利用 ECOPOOL	自転車(一般)	171台	2,160円/1箇月	
				6,480円/3箇月	
		自転車(学生)	1,940円/1箇月		
			5,820円/3箇月		
原付	5台	2,700円/1箇月			
		8,100円/3箇月			
東口	一時利用 TOBU PARK	自転車	60台	100円/24時間	
		原付	5台	150円/24時間	
	定期利用 ECOPOOL	自転車(一般)	114台	2,160円/1箇月	一般・学生共通 1,500円/1箇月 4,050円/3箇月
				6,480円/3箇月	
		自転車(学生)		1,940円/1箇月	
				5,820円/3箇月	
自転車 ゆうゆう	26台	2,700円/1箇月			
		8,100円/3箇月			

一時利用：PASMO 利用の割引なし

2 清水公園駅前東口駐輪場定期利用料金について

清水公園駅前^{東口}で有料駐輪場を管理する東武不動産株式会社より、清水公園駅 東口 有料駐輪場定期利用料金を10月1日から変更予定と報告を受けている。

その理由として、東口の一時的・定期利用台数ともに稼働台数が伸び悩み、定期利用の稼働台数は8月時点でわずか9%に留まっており、駅周辺には、放置自転車等がない一方、徒歩5分の場所へ市が設置した高架下無料駐輪場には、平日約80台程度駐車している。

以上のことから、隣駅の七光台駅・愛宕駅にそれぞれ無料の駐輪場を市が設置していることから、清水公園駅自転車利用者が両駅に利用を切り替えた可能性もあり、清水公園駅東口定期利用料金の値下げを行うと報告を受けた。

変更内容は、1箇月「一般2,160円/1箇月、6,480円/3箇月、学生1,940円/1箇月、5,820円/3箇月」を「1箇月（一般・学生共通の1,500円/1箇月、4,050円/3箇月）」に変更予定と報告を受けている。

3 高架下暫定無料自転車等駐車場について

清水公園駅高架下暫定自転車等駐車場については、平成29年5月に開催した協議会で示された「基本的に駐輪場は有料化を推進することから、利用状況によって柔軟に対応することとし、3年から5年を目安に今後の利用については、協議会に諮っていく」こととなっている。このようなことから、無料駐輪場については、来年、川間駅の自転車等駐車対策をご審議いただく際、清水公園駅についても、ご意見をいただきたいと考えている。

野田市自転車等駐車対策協議会委員名簿

(任期：2年 平成29年11月29日から平成31年11月28日)

(平成30年6月1日現在)

(敬称略)

区 分	役 職	氏 名
関係機関及び関係団体の代表	千葉県東葛飾土木事務所 野田出張所長	畑 本 一 亮
	千葉県野田警察署地域課長	阿 部 智 彦
	(一社)野田交通安全協会会長	深 津 憲 一
	東武鉄道(株)鉄道事業本部計画管理部課長	綾 部 光 明
	輪業組合代表	北 島 康 孝
	商店街連合会会長	岡 安 誠 人
	高等学校教職員代表	滝 口 健 太
	野田市女性団体連絡協議会代表	森 田 邦 子
	消費者モーター代表	後 藤 君 江
	自転車預かり所代表	中 田 禎 子
学 識 経 験 者	東京理科大学工学部教授	内 山 久 雄
利 用 者 代 表	野田市自治会連合会	飯 野 友 二